

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

通 所 介 護

勝原デイ・サービスセンター

令和6年度 事業計画

目 標	利用者個々の状態を把握し、趣味活動を交えた機能訓練を行っていくことで、現存機能を活かした住み慣れた自宅での生活を図る。
理 由	感染症予防に伴う行動制限等は緩和されているが、コロナ禍前に比べると他者交流や外出機会は少なく、意欲的に趣味・創作活動を行ったり、身体を動かしたりすることが減っているため。 支援を受けながらも身体機能を維持し、楽しみやいきがいを持ち、意欲的な生活につながるよう利用者や家族、担当介護支援専門員と話し合い、趣味・創作活動や日常生活を継続するための機能訓練に取り組むため。 また、支援内容や関わりが利用者一人ひとりにとって、意欲の向上や日々の生活行為につながっているかどうかを担当職員間でPDCAサイクルのもと、協議・検討し、改善した取り組みを実行していくことで、各職員のスキルアップに加え、サービスの質の向上を図り、利用者のモチベーションの向上につなげたいため。
具体的対応策	1. 自宅での生活を意識し、趣味・創作活動に加え、外出など野外活動や散策公園で散歩など日常生活を意識した運動を行う。 2. 担当者会議や職員間で意見交換をしつつ、利用者が保有している潜在能力を把握し、利用者や家族、関係者間で能力を活かせる活動や機能訓練を考え、実施する。 3. モチベーションの向上を図るため、利用者や家族に年2回アンケートを実施するとともに支援内容の評価を行い、より個々の状態に応じた活動に改善し、実施する。

令和6年度 事業報告

事業報告	外出活動を積極的に取り組み、利用者にとっては楽しみやいきがいにつながり、好評を得ている。 取り組み内容を可視化できるよう写真を飾ったことで、利用者同士のコミュニケーションのツールともなった。塗り絵や漢字、計算問題などの脳トレーニングは個々にファイリングを行い、利用者個々の状態に合わせた内容を選択し、取り組んだことは継続と意欲向上にもつながっている。また、内容がマンネリ化しないように職員間でも意見交換や情報交換を行った。 利用者や家族のアンケートから認知症の対応、入浴支援が困難であることが複数あがったため、自宅での生活が継続できるよう、担当職員間で情報を共有し共通認識のもと、利用者や家族の想いに寄り添った支援を進めていきたい。
事業運営総括	6年度の稼働率は53.4%と令和5年度の57.4%に比べ、マイナス4.0%落ち込み下降傾向にある。 主たる要因としては、実人数の減少に加え、要介護度の高い利用者が多く、体調を崩してのキャンセル、病院受診や短期入所生活介護など他居宅サービスの利用から休みとなる場合があげられる。 また、各居宅介護支援事業所への訪問や案内、情報提供など営業活動が十分にできていないこともあげられる。 7年度は、各居宅介護支援事業所を月2回訪問し、当事業所の取り組みや利用時の様子、空き状況などの情報を発信し、情報共有や意見交換を行い、新規利用者の獲得、利用継続を行うことで、稼働率の上昇につなげていきたい。

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 2.40 》

令和7年3月31日 現在

	人 数	割 合
事 業	0	0%
要支援 1	2	5%
要支援 2	5	13%
要介護 1	7	18%
要介護 2	7	18%
要介護 3	6	15%
要介護 4	8	21%
要介護 5	4	10%
合 計	39	100%

月間利用実績（人数）

令和6年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合 計
事 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 1	3	4	3	3	3	4	5	3	2	2	2	2	36
要支援 2	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	4	5	52
要介護 1	8	8	7	6	7	7	8	9	8	7	7	7	89
要介護 2	10	10	11	11	10	10	10	10	10	8	8	7	115
要介護 3	7	7	7	9	7	7	7	8	8	6	6	6	85
要介護 4	4	4	3	3	4	4	4	4	7	8	7	8	60
要介護 5	6	5	5	5	4	3	3	3	3	3	4	4	48
合 計	42	42	40	41	39	39	41	42	43	39	38	39	485

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率 53.1%》

令和6年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合 計
事 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 1	10	14	10	9	12	14	17	11	8	7	8	11	131
要支援 2	34	36	33	34	35	33	36	36	35	22	19	23	376
要介護 1	96	92	82	83	91	84	88	97	93	70	70	86	1,032
要介護 2	74	87	92	92	83	73	82	93	83	69	60	58	946
要介護 3	64	76	72	77	76	68	72	80	61	48	48	53	795
要介護 4	26	20	18	13	28	29	30	26	50	50	49	61	400
要介護 5	40	45	47	36	37	33	26	32	34	30	30	32	422
合 計	344	370	354	344	362	334	351	375	364	296	284	324	4,102

開所日数

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	24	26	309

曜日別延べ利用実績

令和6年度

	月	火	水	木	金	土	合計
人数	710	589	689	642	730	742	4,102
割合	17%	14%	17%	16%	18%	18%	100%

1週当たり平均利用人員

令和6年度

	月	火	水	木	金	土	合計	1日平均
人数	13.4	11.5	13.5	12.6	14.3	14.3	79.6	13.27
割合	17%	14%	17%	16%	18%	18%	100%	—

回数別利用人員

令和7年3月31日現在

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
人数	10	16	10	0	2	1	39
割合	26%	40%	26%	0%	5%	3%	100%

保険者の状況

令和7年3月31日現在

保険者	人数
姫路市	36
太子町	3
合計	39

年齢別構成状況

令和7年3月31日現在

	65歳以下	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上	合計
男	1	0	4	4	6	4	1	20
女	1	0	1	2	8	5	2	19
全体	2	0	5	6	14	9	3	39

日常生活状況

令和7年3月31日 現在

区 分		実数	割合
歩 行	自 力 歩 行	9	23.1%
	杖等の歩行補助器使用	15	38.5%
	車いす使用	15	38.5%
食 事	自 分 で 可 能	33	84.6%
	一 部 介 助	2	5.1%
	全 介 助	4	10.3%
入 浴	自 分 で 可 能	5	12.8%
	一 部 介 助	30	76.9%
	全 介 助	4	10.3%
着 替	自 分 で 可 能	5	12.8%
	一 部 介 助	30	76.9%
	全 介 助	4	10.3%

区 分			実数	割合
排 泄	トイレ	自分で可能	18	46.2%
		介 助	21	53.8%
	内おむつ使用		5	12.8%
認 知 症 高 齢 者			23	59.0%

対 象 人 数	39
---------	----

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4 月	ドライブ：桜花観賞 (太子町)	漢字トレーニング パズル・塗り絵	点取りゲーム 連想ゲーム
5 月	散策公園散歩 カーネーション作り (母の日)	漢字トレーニング パズル・塗り絵	言葉集めゲーム 点取りゲーム
6 月	ドライブ：あじさい観賞 (世界の梅公園)	間違いさがし パズル・ちぎり絵	玉入れ合戦 うちわ体操
7 月	七夕会 ドライブ：蓮の花観賞	漢字トレーニング パズル・ちぎり絵	連想ゲーム 物送りゲーム ボール送りゲーム
8 月	夏祭り	漢字トレーニング パズル・塗り絵	点取りゲーム ボールリングゲーム 指折り体操
9 月	運動会	漢字トレーニング パズル・ちぎり絵	オセロゲーム 点取りゲーム
10 月	ドライブ：コスモス観賞 ハロウィン	計算問題 パズル・塗り絵	言葉集めゲーム 指折り体操
11 月	やながせ文化祭	漢字トレーニング 塗り絵	点取りゲーム ブロック積みゲーム グーパー体操
12 月	クリスマス会	計算問題 ちぎり絵	点取りゲーム ブロック積みゲーム 旗上げ体操
1 月	初詣（魚吹八幡神社）	書初め 塗り絵	しりとり 連想ゲーム グーパー体操
2 月	豆まき	間違いさがし ちぎり絵	点取りゲーム ブロック積みゲーム 旗上げ体操
3 月	ドライブ：梅花観賞	塗り絵 パズル	点取りゲーム グーパー体操

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	お誕生会	ちぎり絵・塗り絵・脳トレ ーニング・囲碁・将棋・オ セロ	リハビリ体操 口腔体操

苦情対応
苦情なし

事故対応
事故なし

※ 職員間の内部研修、外部研修、避難訓練については、併設の特別養護老人ホームと合同で行い、参加している。